

第6学年 外国語科学習指導案

令和4年10月5日（水） 第6校時

四万十市立具同小学校

6年2組 生徒数35名

指導者 グダーニ 藍

【学習指導要領 領域別目標】

話すこと【発表】

ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

聞くこと

イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

【CAN-DO リスト形式の学習到達目標】

話すこと【発表】

ウ) 学校生活や地域に関することなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

聞くこと

ウ) ゆっくりはっきりと話された際に、友達や家族、学校生活など身近で簡単な事柄について、イラストや写真を見ながらある程度まとまりのある英語を聞き、必要な情報を得ることができる。

1. 単元名 Unit5 We all live on the Earth

2. 単元について

(1) 単元観

本単元の最終表現活動は「環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物を先生達に説明しよう。」と設定し、評価は身近な生き物紹介のパフォーマンステストと市販のテストで行う。単元の言語材料は turtle などの生き物の名前、live in や eat など生き物を説明する際に活用できる様々な動詞、生き物全般は複数形で表現すること、そして Where や What など生き物の生態について質問するときに活用できる疑問詞である。また、この単元の表現活動に向かい、Unit2 の一般動詞や be 動詞の文構造、Unit3 の can は活用できる表現であると考え。

本単元 Unit5 では様々な生き物の暮らしについて聞き取ったり話したりする活動が組み込まれており、

Over the Horizon では環境問題についても取り上げられている。このことから SDGs にある環境問題について考えることができる単元である。このような社会的問題について発表するという活動を通して目的に沿った発表内容の構成等を考える力を鍛えることができる単元である。それと同時に、中学校の話すこと【発表】(イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」だけでなく、(ウ)にある「社会的な話題」にもつながる単元であると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童は男子 13 名、女子 22 名の計 35 名である。1 学期末のアンケートで「英語で友達や先生と会話することが楽しい」では 94.1% が肯定的評価だが「英語で自分のことや意見を発表することが楽しい」は 82.3% と若干低い。このことから、やりとりに比べ、ペアやグループ内であっても一方的に自分から発表することに苦手意識を持つ児童がいると考えられる。しかし全体的には外国語に積極的に取り組む児童が多い。その一方で、支援が必要な児童、自己表現が苦手な児童も一定数おり、その児童を中心に適宜机間指導をする必要もある。現在までのスピーチのパフォーマンステストでは「自己紹介」では約 77% の児童が A 評価、約 20% の児童が B 評価である。文表現では定着が難しい児童もいるため、チャンツやインプット活動も多用し、定着を図る必要がある。6 年生としては本単元で初めて主語が他者に移り、社会的な問題に言及する。児童は Unit1、Unit3 を通して発表の活動を行うことで、構成を意識でき始めている。

(3) 指導観

本単元の最終表現活動は「環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物を先生達に説明しよう。」と設定し、班ごとに生き物についてプレゼンテーションを行う。ここでは、英語の見方・考え方より、「絶滅の危機にある生き物を守るため、また環境問題について多くの人に考えてもらうためにはどのような内容を、どのように伝えるべきか」という内容、構成についての考えの再構築と、「それらを伝えるために必要な表現とはどのようなものか」という、英語での表現に焦点を絞り、最後の表現活動に向かい言語活動を仕組んでいく。第 1 時では様々な生き物についてプレゼンテーションを聞き、生き物に興味関心を持たせる。その後それらの多くが絶滅の危機に瀕していることを伝え、その生き物たちを守るために、情報を伝える表現活動を行うということを共有する。また、First try として生き物について説明する実体験をし、本単元ではどのような力を身につける必要があるのかも含めて見通しを持たせる。

第 2 時では、教科書や教員からの生き物に関するクイズを出題し、have, eat, live in など、本単元の表現活動に必要な動詞や meat, fish, grass など、食べ物の名詞、in the sea, in the forest のような場所に関する名詞を学ぶ必要性を感じさせ導入する。第 3 時では、前時に学んだ語を実際に活用した表現活動

を児童自身で行わせる。この時に語順を意識させる。第4時（本時）では **Small Task** としてウミガメについて児童自身に説明をさせ、児童が表現したい内容を英語で行うことを支援し、内容構成も意識させる。表現の幅を広げる中で **and** や **but** などの接続詞についても導入する。第5時では教員と児童間でのやりとりやチャンツ等で表現に十分慣れ親しんだ後、児童同士で生き物について質問し合う活動を再度取り入れる。ここで質問されたことが生き物を説明する際に聞き手が求めている情報であることに気づかせ、今後の表現活動に活用できるようにする。第6時では第5時を通してさらに広がりが出た内容や表現にまとまりを持たせるため、始め方を含め構成の部分を再構築させていく。第7時では自分たちが発表する生き物の情報を集め、第8時では順番や、単元目標の達成のために自分たちの思いをどのような内容で、どのように発表内容に組み込むのかについて考えさせる。

帯活動の **Small talk** では、前単元で学んだ過去形だけでなく、これまでの単元で学んだ、一般動詞、**be** 動詞の語順、**can** や町紹介の活動を仕組み、**can** や語順を意識した表現活動、まとまった内容を伝える活動を継続して行って十分慣れ親しむ時間を確保し、本単元での表現活動につなげたい。

また、クロムブックを活用し、**First try** と最後の表現活動を撮影し見比べることで、単元の振り返りへつなげたい。

3. 単元の目標

○話すこと

環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

○聞くこと

ゆっくりはっきりと話されれば、生き物の生態などについて、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

※本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わず、後のリスニングテストで評価する。

4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> 一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関することを理解している。</p> <p><技能> ゆっくりはっきりと話されれば、生き物の生態などについて、具体的な情報を聞き取ることができる技能を身に付けている。</p>	<p>ゆっくりはっきりと話されれば、生き物の生態などについて、具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>ゆっくりはっきりと話されれば、生き物の生態などについて、具体的な情報を聞き取るようとしている。</p>
話すこと【発表】	<p><知識> 一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関することを理解している。</p> <p><技能> 環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>	<p>環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>

5. 単元の指導と評価の計画 (Unit5 We all live on the Earth 全8時間)

時間	ねらい (■)・主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1	<p>■単元ゴールを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen①、② ・ 様々な生き物の生態についてプレゼンテーションを聞き、地球上に様々な生き物がいることを知る。 ・ 紹介された生き物の内絶滅の危機にある生き物がいることを知る。 ・ 高知県にもレッドリストに載っている生き物が多くいることを知る。 ・ 単元ゴールを知る。 <p>① ある生き物の生態とその生き物が絶滅の危機にあることをペアに説明する。(First try) 【撮影】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の見通しを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Eagles live in the sky. Eagles is dangerous.</p> </div>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を通して行う帯活動は2種類である。地域紹介の Small Talk ではまとまりのある内容の発表を復習させる。また、生き物になりきり自己紹介をする Small Talk では、can や過去形を用いる場面を設定し、復習すると共に、語順を意識させ本単元へつなげる。
2	<p>■様々な動詞や場所、食べ物などの単語を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen2 (live in, eat, 場所を聞き取る) ・ クイズをしながら生き物を説明するために必要な語彙に気づく。 ・ 動詞、食べ物、場所の語をドリル学習する。 <p>① 学んだ語を用いてペアに第1時で説明した生き物を再度説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's sing <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Eagles <u>live in the mountain</u>. Eagles <u>eat</u> small animals. Eagles <u>have</u> wings.</p> </div>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間でまとめ、振り返りを行い、それを基に次の時間の復習とめあて作成を行う。
3	<p>■What や Where を用いて質問する方法を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 questions game をしながら、食べる物や住む場所を聞くための表現を知る。 ・ Chants などを用いて表現に慣れ親しむ。 ・ 慣れ親しんだ疑問文のドリル学習をする。 <p>① 疑問文を活用しペアとクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's sing <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Where do you live? -I live in the sea. What do you eat? -I eat fish.</p> </div>				

<p>4 本時</p>	<p>■ウミガメについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学んだ表現の復習。 <p>① ウミガメの情報を基にペアに説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Task①【現状を伝える】 -Mapping -unclear words, good points, bad points を共有。 ・ Small Task②【順番を意識する】 -Mapping 編集 -good points を共有。 ・ Small Task③【撮影】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Sea turtles are cute. Sea turtles live in the sea. Sea turtles eat jelly fish. But sea turtles eat plastic bags. Sea turtles are a red list animal.</p> </div>	<p>○ 話</p>		<p>形【知識】</p> <p>一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関することを理解している。</p>
<p>5</p>	<p>■What や Where を用いてペアとやりとりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学んだ表現の復習 (Let's Listen③) <p>① 10 questions game の形式でペアと生き物についてやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手から質問されたことが、説明される側が知りたい情報であることを認識させる。 ・質問されたことをメモし、次時以降の生き物の説明に活用できるようにする。 ・ Let's sing <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Where do you live? - I live in the mountain. What do you eat? - I eat fish. What do you like? - I like salmons.</p> </div>			
<p>6</p>	<p>■シマリスについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学んだ表現の復習。 <p>① シマリスの情報を基にペアに説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Task①【始め方】 -Mapping -unclear words, good points, bad points を共有。 - and, but, so, because などの接続詞を用い内容にまとまりを持たせる。 	<p>○ 話</p>	<p>○ 話</p>	<p>形【知識】</p> <p>一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関することを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>シマリスについて伝えようとする内容を</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • Small Task②【接続詞 because, so など】【順番】 -Mapping 編集 - good points やアイデアを共有 • Small Task③【撮影】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>They are Chipmunks.</u> Chipmunks are cute. But Chipmunks are a red list animal.</p> <p>Chipmunks live in the forest. Chipmunks eat nuts.</p> <p><u>But</u> Chipmunks can't live in the forest <u>because</u> people cut many trees.</p> </div>			<p>整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p> <p>【主体】</p> <p>シマリスについて伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
7	<p>■クロムブックでレッドリストに載っている動物について班ごとに情報を集める。(高知県の生き物ツキノワグマ・ニホンカモシカ・ヤイロチョウ・ハヤブサ・アオウミガメ・ドジョウ・オオウナギ・オオイトトンボ・オオタカ・ニホンモモンガ・ミナミメダカ等から決める)</p> <ul style="list-style-type: none"> • クロムブックでレッドリストに載っている動物について情報を集める。 ① ペアで情報を基にやり取りをする。 • ①を受けてさらに必要な情報を集める。 • Let's sing 			<p>グループ内で発表者、聞き手、評価に分かれ、発表の内容、仕方(声の大きさ、表情、ジェスチャー等)について向上させる。</p>
8	<p>■前時に調べた生き物について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前時までに学んだ表現の復習。 • 前時に録画した自分のスピーチを見る。 ① 情報を基にペアに説明する。 • Small Task①【終わり方】 -Mapping -unclear words, good points, bad points を共有。 • Small Task②【始め方、終わり方、自分の思い】 -Mapping -unclear words, good points, bad points を共有。 	○	○	<p>形</p> <p>【思判表】</p> <p>前時に調べた生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>

	<p>・ Small Task③【撮影】</p> <p><u>Please listen.</u> They are Chipmunks. Chipmunks are cute. But Chipmunks are a red list animal. Chipmunks live in the forest. Chipmunks eat nuts. <u>But</u> Chipmunks can't live in the forest <u>because</u> people cut many trees.</p> <p><u>I am sad.</u> Let's help them. Please save the forest.</p> <p><u>Thank you.</u></p>				<p>【主体】</p> <p>前時に調べた生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
9	<p>■環境問題を多くの人に考えてもらうため、レッドリストの生き物について伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。</p>	○	○	○	
後日	<p>パフォーマンステスト、ペーパーテスト</p>	○	○	○	

6. 本時の指導

(1) 本時の目標 ウミガメについて与えられた情報を基に伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(2) 観点別評価規準

- ・一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関することを理解している。【知識】
- ・ウミガメについて伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える技能を身に付いている。【技能】
- ・ウミガメについて伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。【思考・判断・表現】
- ・ウミガメについて伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 準備物

- ・電子黒板
- ・パワーポイント
- ・掲示用 picture cards
- ・ Small talk 用 picture cards

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価基準 (言語活動)
導 入 1 0 分	1 Greeting, ルールの確認 2 Daily questions 3 w-up -key words game, 3 hits quiz 4 Small talk “describing game” -first try -unclear words -second try	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの既習事項に慣れさせる。本単元で活用できる語彙に慣れさせるとともに、エラーチェックを通し文構造の定着を図る。 	
展 開 3 0 分	5 本時のめあてを作る ・ 10 questions game S: Where do you live? ... T: I live in the sea. ... S: It's ウミガメ! T: Yes, it's a sea turtle! Look! They are cute! Don't you think so? But they are one of the endangered species... I want to help them! Then let's try sea turtles today!	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の言葉を吸い上げてめあてを児童自身に作らせる。 ・目的やたくさんや順番などという重点項目を入れさせる。 	
	Today's Goal ウミガメを助けるためにたくさん説明しよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りから説明に必要な情報が何であったか確認する。 6 ウミガメについてのプレゼンを聞いて、情報を聞き取る。		
	7 Small task① ・聞き取った情報を基にマッピング (1min) ・ペアにウミガメについて説明する (30 sec) -Unclear words -良かった表現や工夫等を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・エラーチェックでは語順シートを活用して正確な語順を定着させる。 	

T: OK. I'll try. (Bad model)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Sea turtles are big. Sea turtles live in the sea. Sea turtles are cute. Sea turtles like clean water. Sea turtle eat jelly fish. </div>		
T: Why it's not good? How can I level up?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ゴールやめあてを想起させ、その中で今日何に焦点を当てるか考えさせる。 	
S: 順番、危ないこと（現状）やその理由、 他：助けたいこと（自分の思い）がない ジェスチャー、挨拶等		
T: I see. What should we say?		
S: ビニール袋を食べて死んでしまう。 海が汚い。		
T: I see. Then edit your mapping.		
8 Small task②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援が必要な児童を中心に机間指導する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">形</div>
<ul style="list-style-type: none"> ・ マッピングの編集 (1min) ・ マッピングにナンバリング (1 min) ・ ペアにウミガメについて説明する (30 sec) － Unclear words － 良かった表現や工夫等を共有する。 		【知識】 一般動詞の文の語順や特徴、決まりに関する ことを理解している。 【主体的な態度】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Sea turtles are a red list animal. Sea turtles are cute. Sea turtles live in the sea. Sea turtles eat jelly fish. Sea turtles eat plastic </div>		
T: Sea turtles like jelly fish and plastic bags?		
S: No! クラゲが好きだけど、似てるから食べちゃうだけ。		
T: Yes! 「だけど」だよね。but だよね!	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後にどのような表現があれば良いか考えさせる。 	
9 Small task③ 【撮影】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援が必要な生徒を中心に机間指導する。 	【後日パフォーマンステスト】
<ul style="list-style-type: none"> ・ マッピングにナンバリングしたり but などを追加する。(1min) ・ ペアにウミガメについて説明する (30 sec) － Unclear words － Good model で良かった表現や工夫等を共有する。 		<動画記録>

	<p>－自分のスピーチを chrome で撮影する。</p>		
	<p>Sea turtles are cute. Sea turtles live in the sea. Sea turtles eat jelly fish. But sea turtles eat plastic bags. Sea turtles are a red list animal.</p>		
振 り 返 り 5 分	<p>10 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのことを伝えるには 順番に気を付けてまとまりをもたす。 ・現状を伝えることが大切。 <p>11 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前よりも内容がまとまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書かせ、 数人に発表させる。 	

(5) 板書計画

